

第 7 回計画策定委員会における計画骨子案に関する主なご質問・ご指摘事項

	No.	委員質問・指摘事項要旨	検討内容	
			対応	説明等
第 5 章 部 分	1	パブリックコメントやシンポジウムについて、高齢者の参加者が多い印象を受けたので、子育て世代等の若い世代が参加しやすいような仕組みを作られた方がよいのではないかと。	検討	プロモーション事業を通じて意識醸成を行い、若い世代が関心のあるような内容とする等、より参加しやすい仕組み作りを検討します。
	2	【資料 1 P34 第 5 章基本目標 2】 重点指標/成果指標の家庭系可燃ごみ一人一日あたりの排出量は、現状で令和 12 年度の目標値を達成しているため、目標値の方が数値が大きいが、令和 7 年度に予定している「第 2 次ごみ処理基本計画」の中間見直しを待たずに、目標値を再設定されてはどうか。	修正	令和 12 年度の推計では、人口が 15,000 人を割り込むこととなり、算出した結果、目標値の方が数値が大きくなっています。そのため、令和 7 年度予定の「第 2 次ごみ処理基本計画」中間見直し時に再設定するのではなく、最新の推計人口等を考慮したうえで、現時点での目標値を設定するよう修正しています。
	3	【資料 1 P39 第 5 章基本目標 4】 重点指標/成果指標の「脱炭素経営に取り組む事業者数」の目標値は 100 社と低い目標となっているので、目標値をもう少し高くすべきではないか。そもそも町内企業約 1,600 社は、全て経営戦略や経営方針を定めているのか。	検討 修正	「経済センサス活動調査」により従業者規模「20 人」以上の事業者と定義すると、町内では 284 社となります。ある程度の事業者規模のうち概ね 3 分の 1 の 100 社を目標値として設定しているため、この数値は適切であると考えます。なお、この指標の定義付けについては、一部注釈を追加しています。
	4	【資料 1 P43 第 5 章基本目標 6】 京都市でのエコメイトのような久御山町独自のネーミングを持った人達がワークショップを開催する形とし、指標を開催数、開催者数とすることを考えてはどうか。	取組 推進	行政ではなく、環境施策を主体的に推進する地域のリーダーが独自にワークショップを開催することは重要であると考えます。そこでまずは、将来を見据えたリーダーとなる人材の育成に取り組めます。

	5	<p>【資料1 P43 第5章基本目標6】</p> <p>環境教育については、総合学習の中で行うのはなかなか難しいと思うので、教科間連携を活用して行ってはどうか。</p>	検討	<p>学習指導要領で授業時間が決まっている状況で、環境学習を取り入れることは厳しいかと思いますが、将来の人材育成の意味も込めて、教育委員会と連携して、より学習しやすいような仕組みづくりを検討します。</p>
	6	<p>【資料1 P58 第6章1-3ゼロカーボンシティ戦略】</p> <p>環境に良い行動をすることが、より良い生活につながるという具体的なイメージを喚起するような仕掛けをつくり、計画の中で提案して欲しい。</p>	検討 修正	<p>「ゼロカーボンアクション30」にも挙げられている取組であり、久御山町の重点目標『久御山版「食とエネルギーの地産地消の推進」』にも関連するものとして、「食材を購入するときに久御山町産の食材を意識的に選ぶ人の割合」という指標を追加します。(地元の食材を購入することで、輸送に係るCO₂排出量の削減、地元の経済効果につながるなどのメリットがある)</p>
第6章部分	7	<p>【資料1 P58～P60 第6章1-3ゼロカーボンシティ戦略】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「省エネ行動の推進」で我慢の節約のような項目が目標設定されているが、この3つが強調されているのはメッセージの発信の仕方として疑問がある。 ・「省エネ行動の推進」の冒頭でエアコンの上手な使い方との記載があるが、その指標がないため、電力やエネルギーの特徴について記載してはどうか。また、P60の高効率な省エネ機器・設備の導入の項目について、エアコンはこまめに電源を切らない方が良い等、より生活者目線に立った実効性のある情報を発信すべきではないか。 	検討 修正	<ul style="list-style-type: none"> ・P58の計画目標として定めている「短時間でも場所を離れるときは消灯を心がけている」割合、「歯みがきや洗顔の時に水を出しっぱなしにしない」割合については、省エネ行動指標に基づく温室効果ガス排出量の算定上、外すことのできない指標となっています。また、これら部屋の消灯や節水を心がけることは、社会生活において守るべき規範・モラルであると考えられるため、当該項目は据え置きとします。 ・エアコンの上手な使い方、電力やエネルギーの特徴、高効率な省エネ機器・設備の導入に関するご意見については、ご指摘のとおり、P58の計画目標の4項目め及びP60の計画目標の1項目めに新たな指標を追加しています。

8	<p>【資料 1 P67 第 6 章 1-3 ゼロカーボンシティ戦略】</p> <p>地域新電力について、状況は日々変化しているため町が出資することの検討も含めて、早い段階で検討チームを作り、2026 年から 2030 年の間に 1 社設立できるように議論を進めていくべきではないか。</p>	<p>検討 修正</p>	<p>再エネ電力の安定的な確保、町内ニーズの調査、資金調達に係る金融機関との調整等の課題解消のために、計画策定後速やかに調査、検討に入りたいと考えています。</p> <p>また、P67 の地域新電力の設立については、2030 年に「導入」と定めていますが、「調査研究、準備の進捗により目標値より前倒しで導入を進める」旨の注釈を追加しています。</p>
---	---	------------------	---